【参考】地域公共交通計画のアップデートガイダンス

（資料１）

- 令和7年3月に国土交通省より地域公共交通計画の実質化に向けた取組として「地域公共交通計画のアップデートガイダンス」が公表されている。

- ガイダンスの主なポイントは以下のとおり。
  - データを活用した現状診断
  - 施策の進捗・効果を説明するKPIの設定
  - 定期的なモニタリングの実施（計画・事業の改善）
  - 「幹・枝・葉の交通」の意識
  - アクションの記載の充実
  - 計画のスリム化（30ページ程度）

- ガイダンスに従い、従来の地域公共交通計画の構成から大きく変更になる（詳細は資料2参照）

- アップデートガイダンスを通じて交通計画に求められていること
  - 5年後にどのような暮らしができているようにするかを描く（将来像、目標）
  - そのために公共交通はどういったサービスが必要かを決める（軸とサービス水準）
  - そのサービスを提供するためにどのような取組が必要かを定める（施策・事業）
  - どのようにモニタリングして進捗管理していくかを定める（KPI、PDCA）